

今月のおすすめ和書&洋書

N E W B O O K

本コーナーでは、毎月発売される多くの雑誌、書籍、単行本から編集部お奨めのものを紹介していきます。とくに戦車模型に関して役立ちそうな資料関係を中心にセレクトしていますので、購入の際の参考にどうぞ (解説/編集部)

今月の特選和書

グランドパワー 2010年4月号

ガリレオ出版刊/税込2350円

巻頭カラーは「ソウル国際航空宇宙および防衛産業展2009」で展示された韓国軍の装甲車両、陸自のM41軽戦車シリーズほか。特集はM41軽戦車シリーズ、40mm自走高射機関砲M42、155mm自走榴弾砲M44、105mm自走榴弾砲M52を併せて、各型の開発経緯やメカニズム、生産状況、派生型を解説。続いてヘルマン・ゲーリング師団写真集の後編として、機甲化師団への拡充を経てシチリアから東プロシアへと戦った同師団の顛末を追う。編成図や部隊の展開地図、めずらしい車両や軍装の写真など充実の内容。ほかにイタリア軍P40重戦車、戦車マガジンの再録記事「原乙未生中將のその時代(3)」。



今月の特選和書

コンバットマガジン 2010年4月号

ワールドフォトプレス刊/税込900円

巻頭は陸上自衛隊特殊作戦群の初代部長にして、退官後に明治神宮武道場(至誠館)館長に就任した荒谷 卓氏が「大和魂」について語る。多数の勢力による複雑な内戦状態にあり、世界一危険といわれるソマリアの首都モガディシュに潜入した瀧野恵太氏の報告にも注目。アメリカの民間機関なのに軍と警察、特殊部隊向けの訓練を担当する「TIG」による凶悪犯罪対処訓練の体験記も興味深い。一方、ベルトリングラリーことウォーアンドピースショー2009の紹介も必見(映画「戦略大作戦」を再現したイベントがあったと知れば胸踊る人も少なくないのでは?)。米陸軍43年型野戦服の解説はフィギュア製作に役立つ。



今月の特選和書

パンツァー 2010年3月号

アルゴノート刊/税込1890円

特集「現代のニーズに対応するM1戦車」は、ITと対テロ戦争に対する戦車の視点から、M1の改良点や発展プログラムを解説。イラストによって各部の形状変化を明快に視覚化したモデラーにはありがたい企画。外観が酷似する陸自93式近SAMと米軍アベンジャーの比較では、まったく異なるコンセプトで開発されたのを明らかにする。陸自第7師団第11普通科連隊の演習、北部方面戦車射撃競技会、台湾のM41D軽戦車などカラーも充実。仏ルクレール、露BMP-3、南アG6自走砲、米ハンヴィーなどを導入したUAE陸軍の装備も興味深い。陸自第3連隊戦闘団の冬季演習取材したDVDが付属。



今月の特選和書

ペリリュー島戦記

ジェームス・H・ハラス著 猿渡青児訳
光人社刊/税込1050円

S・スビルバーグとT・ハンクスは「プライベート・ライアン」「バンド・オブ・ブラザーズ」に続き、太平洋戦域の戦いを描いた全10時間以上のTVシリーズ「ザ・バシフィック」を制作、3月に全米放映が始まった。本書はそのなかで3話にわたって扱われるというペリリュー島の戦いを描く。昭和19年9月、フィリピンの東800kmのバラオ諸島の小島で日本軍守備隊1万が米海兵隊1万6千の上陸を迎撃、玉砕するが、米側は海兵隊員が押し潰されるように消耗する様を原題「悪魔の金床」と暗喩する。現場を体験したものだけが描写し得る、集大成的な証言集。



今月の特選和書

ドイツ戦闘車両戦場写真集

広田厚司著 光人社刊/税込2100円

欧州大戦の研究者で、翻訳家として活躍する広田厚司氏による戦場写真集シリーズの8冊目。収められた車種は、装甲班装軌兵員車、半装軌牽引車(ハーフトラック)、装軌装甲車、軽・重軍用自動車(野戦乗用車と各種トラック)、VWキューベルワーゲン/シュビムワーゲン、その他の軍用車両と捕獲車両(水陸両用車、RSO、ゴリアテを含む)、オートバイ/NSUケッテンクラート。全350枚の写真は画質がよく、なかには非常にめずらしいものを含む。こまかな派生型を含む各車種の解説が付属。主要な車種すべてを網羅した車両図鑑として手頃で、また戦場イメージを得る資料としても役立つ。



今月の特選和書

STURM! Vol.2

M.S Models/税込1050円

「シュトゥルム」第2号の特集はソフトスキン。ロンメル将軍の愛車、ホルヒ・カプリオレKfz.21アフリカ仕様の実車写真集にはじまり、プラスモデルの同型車キット作例、タミヤ3トン4x2カーゴトラックにトライスター20mm FlaK38を載せた作例と続く。さらに松岡寿一氏のドラゴン1号戦車A型の作例、手軽なフィギュアの塗装法、那須クラシックカー博物館のシトロエン11CVの細部写真集、イタリア軍ソフトスキン車両のカタログ、Sd.Kfz.234シリーズ6点とクルスク戦のダス・ライヒ師団のⅢ号突撃砲の初公開写真1点、テトラック軽戦車系の操向機構解説、六鹿彦彦氏のISU-122Sの防盾イラスト解説と充実した内容。

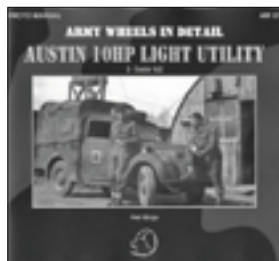


今月の特選洋書

Austin 10HP Light Utility

Capricorn Publications刊/税込1796円
©M.S Models

ADVアズムットのレジンキャスト製に加えて、SKPモデルの複合素材キットとタミヤのプラスチックキット2種が発売され(そっくりさんのアキュリットアーマー製ヒルマンもある)、モデルキットに恵まれた車種となった10HP(登場時はエンジン出力が10馬力だった)軽汎用トラックの資料集。メイン部分はレストアされた車両のディテール写真と整備マニュアルからの部品分解図。各部分ごとにこれらがセットで掲載され、パーツひとつひとつの構成までが分かる。簡単な実車解説、現存する数車の外観写真、戦中の記録写真8点、塗装例のカラー三面イラスト3例も掲載されている。



今月の特選洋書

Capturing Clervaux A Modeler's Tale...

Claude Joachim刊/税込3549円
©M.S Models

「バルジの戦い」において、バスターニュに通じるクレルヴォーでは、ドイツ第2戦車師団の戦車や機甲擲弾車に対し、米第28歩兵師団の第110連隊戦闘団がクレルヴェ川の橋に阻止線を張り、シャトー・クレルヴォーにも部隊がこもって「アラモの砦」のように戦い抜いた。本書は戦闘で廃墟になる前の古城を1/35で再現したタイオラマ(大きさ3x2m!)を紹介。城の内外から多様な生活場面を見せる数十の兵士や捕虜のドイツ兵まで、資料写真と交換手順を辿って製作を体験させてくれる。圧倒的迫力!

